

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">進路だより</h1> 	発行日	令和4年 6月28日(火)
	発行者	いわき立泉中学校第3学年 進路指導担当

体験入学申込み手続き事務上での混乱のお詫び

現在、福島県公立高校体験入学の申し込みを泉中学校を通して行っている最中です。残すところ数校となりました。

さて、日程確認の意味で、各高等学校長から出された案内文書をお子さんを通して手渡したところ、個人で申し込むものと誤解されて、泉中学校や高等学校に問い合わせたご家庭が数件ありました。誤解を招いたことを、深くお詫び申し上げます。体験入学の申し込みにつきましては次のように進めて参りますので、共通理解をお願いします。

公立高校・高専への体験入学申し込み → **学校を通して行います。**
個人で申し込む必要はありません。

私立高校への体験入学申し込み → **個人での申し込み指示があった場合が個人申込みとなります。**

※極力、指示がない場合は学校で申し込むようにします。

進路事務が繁雑になるため、申し込みが完了したかどうかについては、各家庭にお知らせはいたしません。その代わりに、申込完了者には、高等学校から出された文書を紙媒体で配付するようにしています。紙媒体の案内が手元に届いたら、「申し込みが完了した」とご判断ください。

茨城県立日立北高等学校学校説明会要項を配布しました

先日、茨城県立日立北高等学校の職員が来校し、説明をいただきました。その際、生徒全員に学校名を周知していただきたいということで、案内プリントをいただきました。

泉中学校は福島県立高等学校に進学する生徒がほとんどですが、茨城県との隣接県公立高等学校志願者取扱協定により、北茨城の県立高等学校に出願可能となっています。

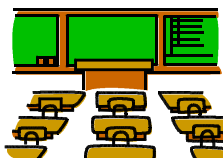
注意：茨城県公立高校に出願した場合は、福島県の公立高等学校に出願できませんので、ご注意ください

過去の進学実績からいうと、明秀学園日立高校（私立）、もしくは茨城キリスト教学園高等学校（私立）に進学した生徒は多いのですが、茨城県立日立北高等学校についても常磐線十王駅（日立駅より北に位置します）で下車しての通学となり、十分通学可能であるということを力説されておりました。

夏の学校説明会（体験学習）が令和4年8月4日（木）に計画されていますので、興味・関心のある生徒、保護者様は是非参加してみてくださいと思います。

詳細は配付した実施要項を熟読ください

8:30~	受付
9:00~ 9:30	全体会 (30分)
9:45~10:20	授業体験Ⅰ (35分)
10:40~	授業体験Ⅱ (35分) アンケート記入校舎案内 (15分) 施設見学～解散
選択コース	部活動体験 (60分) アンケート記入 更衣～解散





来校された先生方がおっしゃっていたのは、環境を大きくリセットして学び直したい生徒がおりましたら是非進学していただきたいとのことでした。高校生活を新たな環境で満喫したい生徒には、選択肢のひとつに加えてもよいのではないかと思います。

無料冊子「自分にあった高校選びと夏休みの勉強法がわかる本」を配付しました。

進研ゼミ中学講座でおなじみのベネッセは、毎年中学生を対象にした無料冊子を希望する学校へ配付しています。進路実現の手助けになることを期待して3年生全員分を申し込みました。先日届きましたのでこの進路だよりといっしょに配付します。
合格のためのスケジュール、自分にあった高校の見つけ方、高校情報の調べ方Q&Aなど、大変参考になる記事が記載されています。ご家庭で一緒に一読され、参考にいただければと思います。

7/1(金)に第2回進路希望調査を行います。

第2回目の進路希望調査を7/1(金)朝の時間に実施しますのでお知らせします。
前回と同じように希望学校名と受験方法を調査します。(形式は下の拡大部を参照してください。)

拡大部

希望学校名		コード番号
学科名		

★★受験方法についての調査★★
県立高校に進学希望の人は1番を、私立高校に進学希望の人は2番を、高専希望の人は3番を記入してください。

1 県立高校志願者	1 特色選抜	2 一般選抜	3 併願
2 私立志願者	4 推薦選抜	5 一般選抜	
3 高専志願者	4 推薦選抜	5 学力選抜	



今週中、ご家庭で確認し合う時間を設定し、保護者の意見を反映したものをお子さんが記入するようにしていただけると幸いです。
なお、今回の調査は校内資料として活用し、結果を公表しませんのでよろしく願います。

二宮尊徳の言葉

大事ななそうと思ったらまず小さなことを怠らず勤めなければならない。

小が積もってはじめて大となるのである。失敗する人の常として、大事ななそうとして小事を怠り、難しいことを心配してやりやすいことを勤めないから結局大事ななすことができないのだ。

多くの会社では、入社まもない新入社員には「コピー取り」のような単純な仕事を与えます。しかし、自分はこんな仕事をするために会社に入社したわけではないと不平不満を漏らす新入社員がいます。コピー取りだって立派な仕事なのにです。和食の板前さんはまず皿洗いやから始めて10年もの間下働きしかさせてもらいないと聞きます。下働きは料理とは直接関係ないように見えて、実は洗い場の苦労や下ごしらえの大切さを知る大切な経験となります。



たかがコピー取りなどとは思わずに一生懸命丁寧に仕事をした人に次の仕事が回ります。次第に信用が生まれて大切な仕事を委ねられるようになってきます。

小事はやがて中事となり、大事になっていく。結局は小事こそが大事につながっていくのです。

さて、生徒の皆さんは思い当たることはありませんか？ 意外と小さなことをおろそかにしているから取り組んでいることがうまくいかないのかもしれないかもしれませんね・・・。